



長野中だより

学校教育目標

よく考え進んで学ぶ生徒
誠実で思いやりのある生徒
心身ともにたくましい生徒

令和2年 9月1日発行 第5号 行田市立長野中学校 TEL 048-554-2240
ホームページアドレス <http://www.gyoda-naganochu.ed.jp/news/>



ピュアな気持ちで『あいさつ』をしよう！

校長 有山 博之

夏休みのとある日、校長室で仕事をしていると。外から、とぎれなく鳴く蟬の声、音楽室からは管楽器の音色、窓越しには三者面談で訪れる3年生親子、廊下からは校舎を出入りする生徒の明るくはずんだ声を耳にしました。当たり前的情景かもしれませんが、今年はそれが、いたくうれしく、ありがたく思う一瞬でした。しかし、現在のコロナ渦の社会や学校では、様々な活動も制限されています。さらには、日本を襲った7月の豪雨では、現在も不自由な生活を強いられている人たちもいます。これまでの当たり前の生活が当たり前ではなくなっています。そのような中、1学期末に生徒会、ボラティア委員会を中心に実施した豪雨災害義援金募金では皆様のご協力で多くの募金を集めることができました。この募金は8月19日(水)に本校と行田中学校との共同募金として、鈴木生徒会長と行田中学校生徒会長が埼玉新聞熊谷支店を訪れ、埼玉新聞・社会福祉事業団を通して被災地へ寄付しました。翌日の埼玉新聞にも大きく取り上げられ、本校生徒会の自主的な活動をアピールすることができました。これからも、通常の学校生活が送れない中ですが、体育祭をはじめとする学校行事や様々な諸活動を工夫を凝らしながら全校・学年・学級そして生徒会や部活動等で主体的に実践してくれることを期待しています。

ところで、2学期を迎え、生徒の皆さんに是非、身につけてほしいことがあります。それは、『あいさつ』です。親と交わす「おはよう。」の中には、「今日もがんばってね！」や「いつもありがとう。」といった気持ちが、友達とのあいさつには「今日もお互いがんばろう！」や「今日も仲良くしようね。」といったエールや感謝の気持ちが含まれています。あいさつは心を開き、社会に出てからも不可欠なコミュニケーションにつながります。あたり前のことですが、身につけていなければならない基礎、基本です。人には好き嫌いやその場そのときの感情があります。しかし、あいさつをするときはそのような感情はいりません。シンプルでピュアな気持ちであいさつをしましょう。学生時代からこの基礎、基本を身につけておけば、必ず社会に出てから大きな力になります。是非、積極的に自分からあいさつをするようにしましょう。

さて、3年生にとっては、進路実現を目前に控え、いよいよ自分の道を切り開く時が間近に迫っています。今後の進路計画をしっかりと立て、自分に嘘をつかない、そして粘り強く最後まで諦めない地道な努力を積み重ねてください。1・2年生にとってもこの2学期は、自分自身としっかりと向き合い他者と関わる中で、自分の可能性を大きく広げていける大切な時期です。自分の可能性を信じ、強い「思い」を持って、前へと進んでいきましょう。

なお、新型コロナウイルス感染症は、収束の兆しもなく、心配な状況です。引き続き、マスクの着用、手洗い、うがい、手指の消毒を遂行し、3つの密を避けることで新型コロナウイルス感染防止の徹底を図ってください。また、暑い日も続きます。教室では冷房をつけることと、ドア、窓の一部を開け、換気をするを同時に行ってください。2学期からは体育祭練習も始まりますので、併せて熱中症にも十分注意し、こまめに水分をとるようにしてください。

